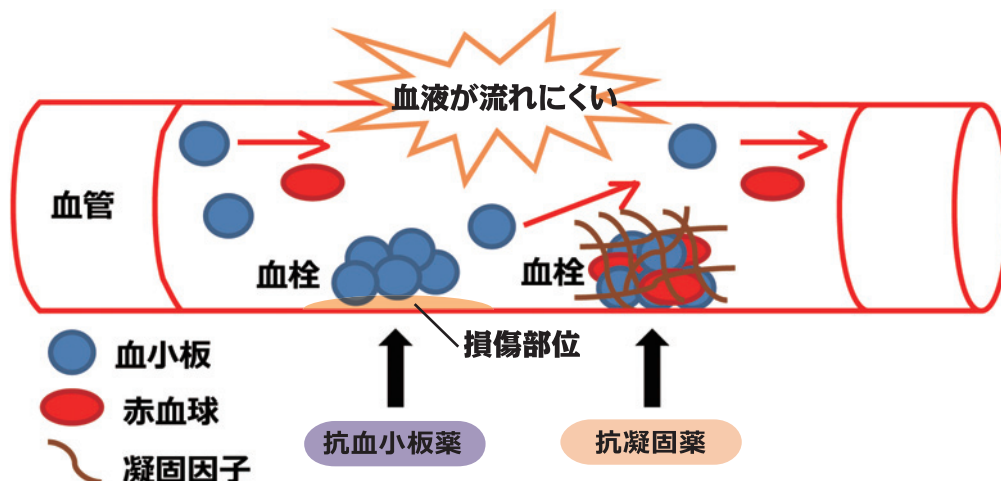


薬剤部

抗血栓薬のお話

抗血栓薬、いわゆる血液をサラサラにする飲み薬には大きく分けて抗血小板薬・抗凝固薬の2種類があります。この2種類のお薬は、血栓の種類によって使い分けられています。



血栓をできにくくする薬

	抗血栓薬	
	抗血小板薬	抗凝固薬
お薬の作用	血小板の凝集を抑えて血栓の形成を抑制します	血液の凝固因子の働きを抑えて血栓の形成を抑制します
お薬が効く血栓の種類	血流の流れが速い動脈にできる血栓	血流の流れが遅い静脈にできる血栓
お薬が使われる代表的な疾患	心筋梗塞 狭心症 脳梗塞	心房細動 深部静脈血栓症 肺血栓塞栓症
代表的なお薬	バイアスピリン エフィエント プラビックス プレタール パナルジン	ワーファリン エリキュース イグザレルト リクシアナ プラザキサ

抗血栓薬に関するQ&A.....

Q 食品との飲み合わせは大丈夫ですか？

A ワーファリンは、ビタミンKの働きを抑えて 血管内で血液が固まるのを防ぐお薬ですので、ビタミンKを多く含む食品を摂取するとその効果が薄れてしまいます。そのため、納豆・クロレラ・青汁などビタミンKを多く含む食品の摂取は避けてください。それ以外のお薬に関しては、ビタミンKとの飲み合わせは問題ありません。



プレタールは、グレープフルーツジュースと一緒に飲むと、肝臓での分解を阻害されるため、血中濃度が上昇し、副作用が出やすくなるおそれがあります。



Q 日常生活で気を付けることはありますか？

A 抗血栓薬を服用中の方は、血が止まりにくくなったり、鼻や歯茎などから出血が起きたりすることがあります。出血が気になる場合は主治医にお伝えしてください。また、日常から出血を避けるために、やわらかめの歯ブラシで歯磨きをする、鼻は強くかまないなどを心がけてください。



Q 手術や検査は受ける時はお薬を中止すればいいですか？

A 抗血栓薬を服用していると、手術や内視鏡検査などの際に血が止まりにくくなる場合があるため、抗血栓薬を中止することがあります。しかし、心臓疾患や脳血管障害などの治療に必要なお薬であり、お薬の種類によって中止する期間も違いますので、勝手に中止するのではなく必ず主治医の指示を受けるようにして下さい。

中央臨床検査部

あなたの”心臓の元気度”を血液検査で知ろう

心不全 普段の生活の中でこんな症状があったら、心臓からのSOSかもしれません。

- ・動悸や息切れがおおくなった
- ・足がむくむ(特にスネや足の甲)
- ・食欲不振が続いている
- ・少しの歩行や運動で疲れやすくなった
- ・夜中にトイレによく起きるようになった
- ・咳やタンがよく出る、夜中に息苦しくなる



心不全とは、病名ではなく心臓のポンプとしての機能が低下して全身の臓器が必要とする血液を十分に供給できなくなった状態のことです。心不全の早期発見と治療のために、BNPの測定をしましょう。BNPは心臓にどれくらいの負担がかかっているか数値で把握することができます。

BNP (脳性ナトリウム利尿ペプチド) とは何でしょう？

BNPは心臓(特に心室)から分泌されるホルモンで、血圧を低下させ利尿を促し、さらには心臓の肥大や線維化を抑えるという心臓を守る(心保護)作用があります。心臓の機能が低下して心臓への負担が大きいほど多く分泌され、数値が高くなります。

BNPによく似たNT-ProBNPとはなんですか？

血清で測定可能であるため検診で測定される機会が多くなった検査項目です。BNPと同様に心不全の診断補助に用いられます。前駆体ホルモンProBNPが分解されて生じるホルモンで、1:1の割合でBNPと共に血中に放出されますが、心不全を除外できる検査値がBNPで100pg/ml以下、NT-ProBNPでは400pg/ml以下とカットオフ値に違いがあるので注意が必要です。

NT-proBNP (pg/mL)	BNP (pg/mL)	(日本心不全学会より)
900	200	有症候群1 心不全の可能性が高い
400	100	無症候群2 心不全の可能性はある
125	40	無症候群1 心不全の可能性はわずかにある
55	20	高リスク群1 心不全の可能性は低い
	20	正常群 心血管系に問題なし

近年、BNPの濃度に影響を与える薬剤がふえており、心不全の治療効果を知るためにはNT-ProBNPの測定が有用になるといわれています。

しかし、BNP検査だけで心臓病の全てが分かるわけではありません。心不全の原因となる病気の診断には、別の血液検査、心電図検査、レントゲン検査、心臓超音波検査などが必要です。